

11月4日投稿

「明治天皇上陸記念碑サ仆の樹木が伐採？」

を読んで

投稿を頂き有難うございました。

私たちは記念碑公園の椿、公孫樹、躑躅、蘇鉄、槇、バベ、貝塚伊吹、等です。私たちの余命は後16時間程と成りました、別に何処も悪い所は有りません。唯大きくなり過ぎただけです。

この地に根を下ろして96年、生まれてからは100年くらいでしょうか。

樹木としてはまだ壮年期のつもりです。故に整枝、剪定には経費と人手がかかるのがネックとなって伐採の結論に成ったようです。切ってしまうと後々楽でしょうが、昭和、平成、令和の時代を共にした人も多いと思います。私達の100年の存在は何の意義も無かったのでしょうか？また100年生

きる事の大変さは人も動物も植物も変わりないと思いますが、今、命の瀬戸際に残念に思うのは、人間の叡智を信じ、何らかの方策を模索した結果とは思えないからです。今一度残す事が出来る方策は…無駄の様ですね…

晩秋の旭川に映る水銀灯の灯りが静かに別れを惜しんでくれて居る様です。明日の午前中に作業が始まります。赤いテープは伐採の対象樹木です。

2021年11月6日

